

PRESS RELEASE

報道関係者各位

2017年11月1日

中央労働災害防止協会

ISO45001 の認証登録第1号を 日本ガイシ(株)名古屋事業所に実施

中央労働災害防止協会（中災防：理事長 八牧暢行）は、労働安全衛生の国際規格「ISO45001」の第1号となる認証登録を、日本ガイシ株式会社名古屋事業所（所長 蟹江浩嗣取締役専務執行役員）に対して行いました。

中災防は、来春に見込まれる ISO45001 の発行を見据え、認証事業を手がける新たな組織として「JISHA - ISO マネジメントシステム審査センター」（以下、審査センター）を立ち上げ、今秋から認証事業に着手しました。今回の登録は、ISO45001 の国際規格原案（DIS 2）に基づき、審査センターがプライベート認証として実施したものです。

日本ガイシ名古屋事業所は 2008 年から中災防の労働安全衛生マネジメントシステム（OSHMS）認証「JISHA 方式適格 OSHMS 認定」を続けてきたところであり、審査センターの ISO45001 認証開始を受け、これまで培ってきた安全衛生管理活動を継続させつつ、国際通用性も目指して ISO 認証を受けることとし、今回の認証登録に至りました。

現在国内では、ISO45001 の翻訳版「ISO（JIS Q）45001」の検討と並行して、日常の安全衛生管理・活動などを反映させた“日本版マネジメント規格”（※1）の作成が進められています。審査センターではこの日本版の内容が明らかになった段階で、日本ガイシ名古屋事業所に対し、ISO（JIS Q）45001 とセットでの認証登録を行うことも予定しています。

今後、中災防では、JISHA 方式適格 OSHMS 認定で培った審査経験、現場の安

全衛生管理に詳しい審査員を擁する強みを生かし、労働災害防止や安全・健康な職場づくりにつながる認証事業を展開していく考えです。

※1 日本版マネジメント規格：ISO45001の翻訳版となる「ISO（JIS Q）45001」と一体で運用できることに主眼を置いたもの。ISO45001には明示していない「4S」や危険予知（KY）活動など、多くの日本企業で日常的に行われている取り組みを反映させることで、国際通用性を有し、かつ安全衛生水準の一層の向上と労働災害の防止につながる規格とするのが狙いで、現在、行政や企業、業界団体、労働組合、認証機関、認定機関、労働災害防止団体などで構成する委員会において作成作業が進められている。

※この資料は、厚生労働記者会、厚生労働省労政記者クラブ、厚生日比谷クラブ、自動車産業記者会に配布しています。

中央労働災害防止協会（中災防）

【担当】 JISHA - ISO マネジメントシステム審査センター

所長 上級執行責任者 白崎 彰久

電話：03（3452）6694／FAX：03（3452）1275

E-mail：jisha - ms@jisha.or.jp

【照会先】 総務部 広報課長 高橋まゆみ

電話：03（3452）6542／FAX：03（3453）8034

E-mail：koho@jisha.or.jp